

「たたえますとこしえに」

(詩篇92:8)

たたえます

あなたは とこしえに

誉(ほま)れとさんび うけるかた

あがめます

みまえに立ち たえず

心から礼拝(れいはい)します

「主の栄光宮に」

(Ⅱ 歴代誌7:1)

主のえいこう みやに

主の平和 うちに

主の喜びが満ちあふれる

イエスのみなにより 罪きよめられ

いま 聖霊がこころに住まわれる

新聖歌175番 「胸の奥に」

- 1 胸の奥にひそむ 罪と汚れに
人知れず悩むは 誰(たれ)ぞ誰(たれ)ぞ
* すがれイエスに イエスの愛に
心は平和と 喜びに満(み)ちん
- 2 重き荷をにないて 長き旅路(たびじ)を
望みなくたどるは 誰(たれ)ぞ誰(たれ)ぞ 【*】
- 3 まぼろしを描(えが)きて ついに得(え)られず
心 日々すさむは 誰(たれ)ぞ誰(たれ)ぞ 【*】
- 4 とこしなえのひかり わずか見得(みう)るに
たよりまつる心 誰(たれ)ぞ誰(たれ)ぞ 【*】

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌233番 「驚くばかりの」

- 1 おどろくばかりの 恵みなりき
この身の汚(けが)れを 知れるわれに
- 2 恵みはわが身の 恐れを消し
任(まか)する心を 起こさせたり
- 3 危険(きけん)をも わなをも 避(さ)け得(え)たるは
恵みのみわざと 言(ゆ)うほかなし
- 4 御国(みくに)に着く朝 いよいよ高く
恵みの御神(みかみ)を たたえまつらん

アーメン

新聖歌282番 「見ゆるところによらず」

1 見ゆるところによらずして 信仰によりて歩むべし
何をも見ず また聞かずとも 神のみ約束に立ち

* 歩めよ信仰により 歩め歩め 疑(うたが)わで
歩めよ信仰により 見ゆるところにはよらで

2 見ゆるところはいかなるも
われ早(は)や得(え)たりと信じつつ
疑うことなく歩みなば 必ずそのごとくならん 【*】

3 おのが聖(きよ)きをもて誓(ちこ)う
父なる神はまことなり そのみ言葉を信ずる者に
なしあたわぬことあらじ 【*】 アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌60番 「天地(あめつち)こぞりて」

あめつち こぞりて

かしこみたたえよ

みめぐみ あふるる

父 御子(みこ) 御霊(みたま)を

アーメン